

## 8月7日 1学期終業式、8月17日 2学期始業式が新定番スケジュール？

暦の上では最も暑い時期の大暑の候となりましたが、保護者・地域の皆様におかれましては、ますますお元気でお過ごしのことと存じます。

今年の7月は、本来であれば、東京オリンピック・パラリンピックの開催で国内はお祭りムード一色に包まれていたはずでした。しかし、現実には、新型コロナウイルスの感染が再び懸念される中、「線状降水帯」による集中豪雨が九州を中心に各地に大きな被害をもたらすなど、正反対の状況になりました。

学校においては、子どもたちがコロナ禍での生活リズム・学校生活に少しずつ慣れてきたように思います。また、学校再開から2ヶ月が経ち、3密を避けること、手洗い・うがいをする事、マスクを付けることに留意すれば、学校での感染はかなり防げるのではないかと感じています。3密を避けながら授業や指導をすることは、予想していた以上に大変ですが、これまでのやり方に固執することなく「Withコロナ時代」に合わせた教育を、模索しなければならないと考えています。

- ・オンライン授業の推進（海南市では今年度中に児童一人一台タブレットを実現）
- ・少人数学級編制の実現（1学級20人以内）
- ・ネット会議の普及
- ・うがい、手洗いの時間確保等による週時程の見直し
- ・各種行事の精選及び内容の見直し 等々

学校だけで変えていくのは難しい課題もありますが、コロナ感染の終息が望めない現状では、早急に着手する必要があります。

真夏日・猛暑日が連日続く時期になってきて、コロナ対策に加えて熱中症対策にも留意しなければなりません。子どもたちが初めて体験する「真夏の学校生活」は、健康面を第一に考えて過ごさせてあげたいと考えています。



明るいニュースが少ない昨今ですが、藤井聡太さんが史上最年少（17歳と11カ月）で将棋の8大タイトルの一つ「棋聖」を手にしたことは、将棋ファンのみならず多くの人に感動を与えてくれました。私は将棋に詳しくありませんが、藤井さんは今回の棋聖戦五番勝負において、人々が予想だにしない、呆然とするしかないような一手を何回も指しました。近年AIが、チェスや囲碁のチャンピオンを負かすまで進化してきましたが、今回藤井さんが指した一手は、AIが何時間もかけないと考えつかなかったものだったそうです。これからも独創的で斬新な指し手でファンを魅了して欲しいです。

